

令和7年3月31日

国土交通省関東地方整備局

企画部

港湾空港部

知っていますか!?東京湾で進む気候変動と環境問題

～関東地方整備局は「東京湾水環境再生計画」を推進します～

東京湾は今、海水温の上昇、夏季における赤潮・貧酸素水塊の常態化、海水中の栄養不足による漁業への悪影響や磯焼け（海の砂漠化）など、様々な問題を抱えています。

関東地方整備局は、「東京湾水環境再生計画」を10年ぶりに改定しました。新たな計画のもとで、東京湾の水環境の再生・創出に向けた施策を推進します。

下水道の普及をはじめ様々な努力により東京湾の水質は着実に改善しています。しかしながら、近年では気候変動による海水温の上昇や栄養塩類の偏在（富栄養化と貧栄養化）等により、藻場（もば）*の減少・消失や江戸前の水産資源の減少など、多くの問題が顕在化しています。

新たな「東京湾水環境再生計画」では、様々な問題に対応するため、「連携・協働」、「水質改善」、「生物生息環境改善」、「クリーンアップ」、「モニタリング・情報発信」の5つのテーマについて実施方針を定め、具体的施策に取り組むこととしています。

関東地方整備局は、「美しく豊かな東京湾」を次世代へ引継ぐため、水環境の再生・創出に向けた施策を推進します。

※海草・海藻などの群落

《「東京湾水環境再生計画」は、関東地方整備局のホームページで公開します。》

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、横浜海事記者クラブ、
神奈川建設記者会、千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部 企画課

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1372

企画部 企画課 課長補佐 高野（たかの） 内線：3155

関東地方整備局 港湾空港部（横浜庁舎）

電話：045-211-7404 FAX：045-211-0203

事業継続計画官 伊勢（いせ） 内線：5944

課長補佐 関野（せきの） 内線：5894

①連携と協働



東京湾大感謝祭



あきしま水辺の楽校

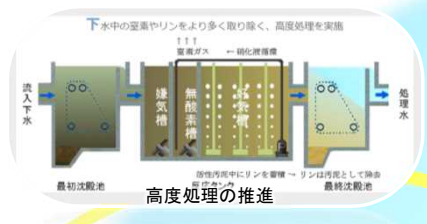


聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり



アマモ場の再生活動 (東京湾UMIプロジェクト)

②水質の改善



高度処理の推進



マヨカレイ産卵場の底質改善 (浚渫土の有効活用)

「美しく豊かな東京湾」をめざして

【東京湾水環境再生計画のURL】
<https://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000015.html>

③生物生息環境の改善



ブルーインフラの整備 (新本牧地区生物共生型護岸) 出典：横浜市港湾局



消波施設整備箇所 (横浜左岸(下流)) 多自然川づくり (荒川下流部)

④クリーンアップ



水面清掃船



東京湾クリーンアップ大作戦



清掃兼油回収船「べいくりん」



荒川クリーンエイド

⑤モニタリング情報発信



東京湾環境情報センターによる情報発信



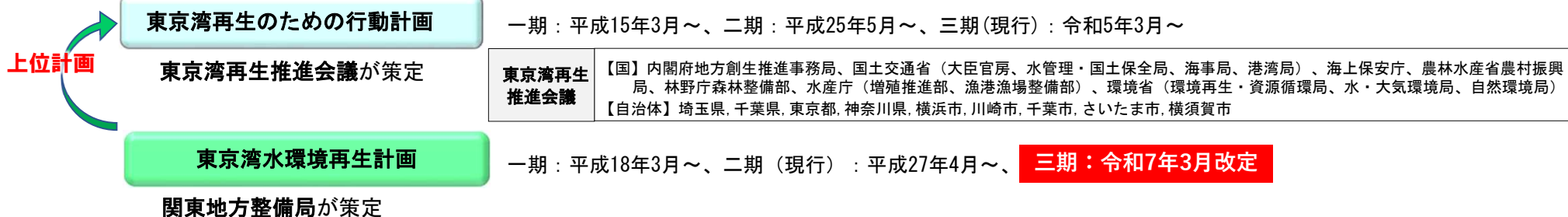
凡例 ●: 水質連続観測位置(4地点) ●: 水質連続観測位置(水温のみ、3地点)

モニタリングデータをリアルタイムで公表

「東京湾水環境再生計画」の位置付けと概要

1. 策定の経緯

○都市再生プロジェクト第三次決定（平成13年12月）に基づき“東京湾再生推進会議”が策定した「東京湾再生のための行動計画」（平成15年3月）を上位計画とし、関東地方整備局が主体となって行う東京湾の水環境再生・創出施策について「東京湾水環境再生計画」（平成18年3月）を策定。
○第三期目となる「東京湾再生のための行動計画」が令和5年3月に策定された。関東地方整備局においても、東京湾の水環境の変化や社会的な要請を踏まえ、概ね今後10年を目標期間とし「東京湾水環境再生計画」を改定。



2. 改定計画の概要

本計画には「①包括目標」、「②実施方針」及び「③具体的施策」を記載。関係する個別のプロジェクトを立案・実施する際の指針として活用を行う。

